

線形代数学 II ABC クラス 中間試験問題 (2025年12月)

氏名

学籍番号

1. ベクトル空間  $\mathbf{R}^2$  のベクトル  $\mathbf{u}_1 = \begin{bmatrix} 3 \\ 2 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{u}_2 = \begin{bmatrix} -1 \\ 1 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{u}_3 = \begin{bmatrix} 0 \\ 5 \end{bmatrix}$  について, 次の問いに答えよ.

(1)  $\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2$  は 1 次独立であることを定義に従って示せ. (6点)

(2)  $\{\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2\}$  は  $\mathbf{R}^2$  の基底であることを示せ. (6点)

(3)  $\{\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3\}$  は  $\mathbf{R}^2$  の基底であるかどうかを理由と共に答えよ. (5点)

(4) ある線形変換  $T : \mathbf{R}^2 \rightarrow \mathbf{R}^2$  は,  $T(\mathbf{u}_1) = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}$ ,  $T(\mathbf{u}_2) = \begin{bmatrix} 1 \\ 3 \end{bmatrix}$  を満たしている.

$\mathbf{x} = -\mathbf{u}_1 + 3\mathbf{u}_2$  について,  $T(\mathbf{x})$  を求めよ. (5点)

2.  $A$  を  $m \times n$  行列とし,  $\mathbf{0}$  を  $\mathbf{R}^m$  の零ベクトルとする.  $\mathbf{R}^n$  の部分集合

$$W = \{\mathbf{x} \in \mathbf{R}^n \mid A\mathbf{x} = \mathbf{0}\}$$

について, 次の問いに答えよ.

(1)  $W$  が  $\mathbf{R}^n$  の部分空間である必要十分条件は, 次の3つの条件を満たすことである. 下線に適切な文章を入れよ. (各2点)

(i)  $\mathbf{R}^n$  のゼロベクトルは  $W$  に属する.

(ii) \_\_\_\_\_

(iii) \_\_\_\_\_

(2)  $W$  は (i) を満たす.  $W$  は (ii), (iii) も満たすことを示せ. (8点)

3. 次の同次連立1次方程式の解空間を  $W$  とする.

$$\begin{cases} x_1 - x_2 + x_3 - 3x_4 = 0 \\ 2x_1 - 2x_2 + 2x_3 - 6x_4 = 0 \end{cases}$$

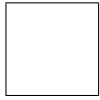
(1)  $W$  の基底を1組求めよ. (8点)

(2)  $W$  の次元を答えよ. (4点)

4.  $A = \begin{bmatrix} 1 & -1 & 1 & -3 \\ 2 & -2 & 3 & -1 \\ 3 & -3 & 3 & -9 \end{bmatrix}$  とし,  $A$  の第  $j$  列ベクトルを  $\mathbf{a}_j$  とする ( $j = 1, 2, 3, 4$ ).

ベクトル  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4$  の 1 次独立な最大個数  $r$  を求めよ.

また,  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4$  の中から 1 次独立な  $r$  個のベクトルを選び, その他のベクトルを選んだベクトルの 1 次結合で表せ. (10 点)



5. ベクトル空間  $V$  の基底  $\{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3\}$  と  $\{\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_3\}$  の間に次の関係があるとする.

$$\mathbf{b}_1 = \mathbf{a}_1 + \mathbf{a}_3, \quad \mathbf{b}_2 = 2\mathbf{a}_1 + \mathbf{a}_2 + \mathbf{a}_3, \quad \mathbf{b}_3 = -\mathbf{a}_1 - \mathbf{a}_2 + \mathbf{a}_3.$$

このとき, 以下の問いに答えよ.

- (1)  $\{\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3\}$  から  $\{\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_3\}$  への変換行列  $P$  を求めよ. (6 点)



- (2)  $V$  のベクトル  $\mathbf{x} = \mathbf{a}_1 + \mathbf{a}_2 + \mathbf{a}_3$  を  $\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_3$  の 1 次結合で表せ. (10 点)

6. 座標平面における次の問いに答えよ.



(1) 各点を原点の回りに  $60^\circ$  回転させる 1 次変換を定める行列を求めよ. (6 点)

(2) 点  $(\sqrt{3}, 5)$  を原点の回りに  $60^\circ$  回転させた点 P の座標を求めよ. (6 点)

7. 行列  $A = \begin{bmatrix} 1 & 3 \\ 2 & 6 \end{bmatrix}$  で定まる 1 次変換  $T_A: \mathbf{R}^2 \rightarrow \mathbf{R}^2$  を考える.



(1)  $\text{Im } T_A$  に属するベクトルを 2 つ挙げよ. (4 点)

(2)  $\text{Ker } T_A$  に属するベクトルを 2 つ挙げよ. (4 点)

8.  $V$  を  $\mathbf{R}$  上のベクトル空間とする.  $V$  のベクトル  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3$  が 1 次独立であるとき, 次のベクトル  $\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_3$  は 1 次独立であるかどうか理由とともに答えよ.

$\mathbf{b}_1 = \mathbf{a}_1 - 2\mathbf{a}_2, \quad \mathbf{b}_2 = \mathbf{a}_2 - 2\mathbf{a}_3, \quad \mathbf{b}_3 = -\mathbf{a}_1 + \mathbf{a}_3.$  (8 点)

